

令和7年12月会議
一般質問 参考資料

浦中 隆男 議員

1. 森林環境譲与税の推移

単位：千円

森林環境譲与税		森林環境譲与税基金	
令和4年度決算額	28,698		
令和5年度決算額	28,698		
令和6年度決算額	39,644	基金積立額	6,000
令和7年度予算額	43,432	基金予算額	8,456

2. かつらぎ町林業担い手社会保障制度等充実対策事業補助金交付要綱

別表(第4条関係) 補助対象経費、補助率及び補助金額等

事業区分		補助対象経費	補助率	補助限度額
1	林業退職金制度加入促進事業			
	(1) 林業退職金共済事業	林退共契約を締結する中小企業林業事業体が当該契約に基づき支払う掛金	1/2 以内	
	(2) 中小企業退職金共済事業	中退共契約を締結する中小企業林業事業体のうち認定事業主が当該契約に基づき支払う掛金	1/2 以内	事業の対象となる林業労働者1人につき1か月当たり8,000円とする。
2	林業社会保険制度加入促進事業	雇用保険、健康保険及び厚生年金の保険料・掛金のうち認定事業主の負担となる経費	3/5 以内	
3	林業労働者任意災害補償保険助成事業	認定事業主が負担する任意労災保険の保険料	3/4 以内	

令和6年度 森林環境譲与税の使途

圖活用状況(全体像)

区分	令和元年度～令和5年度	令和6年度	計	令和6年度末時点の活用率
活用額(円)	112,783,000円	39,644,000円	152,427,000円	100%
譲与額(円)	112,783,000円	39,644,000円	152,427,000円	

圖令和6年度の具体的な活用状況

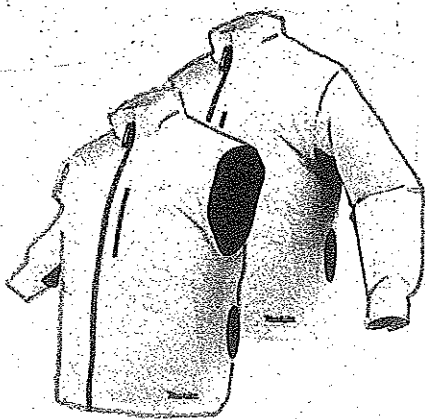
区分	事業区分	事業費(円)		事業内容	事業結果	備考
			うち森林環境譲与税	うち他の財源(円)		
森林整備	環境林基盤整備事業補助金	558,800	533,016	23,784	路網整備が困難で、これまで森林整備が行き届かなかった地域における3.48haの切り捨て間伐に対して補助しました。	・切り捨て間伐支援(556,800円)
森林整備	森林再生統合事業補助金	4,359,400	4,359,400	0	和歌山県が定める森林ゾーニングに則り、経済林を対象として施策を進めます。間伐材の流通、木材搬出が困難な森林での切り捨て間伐、作業道の復旧や森林組合が行う森林環境保全整備事業(森林環境譲与税の充当対象外)について補助します。	・間伐材流通支援(2,875,000円) ・作業道の復旧支援(1,484,400円)
森林整備	森林管理意向調査等業務委託	6,884,422	6,884,422	0	経営管理がされていない人工林の私有林において、自ら経営管理を行う意向があるか調査を行います。所有者から経営管理を希望された土地については経営管理集積計画を作成します。	・森林管理意向調査業務委託(4,026,765円) ・森林経営管理権集積計画案作成業務委託(2,857,657円)
森林整備	経営管理業務委託料	17,718,027	17,718,027	0	森林経営管理業務にかかる集積計画を作成した森林の間伐を行うための測量を行います。	・測量業務委託(3,666,933円) ・間伐事業(14,051,094円)
森林整備	森林クラウドシステム運営協議会負担金	200,000	200,000	0	森林クラウドシステム運営協議会負担金	森林整備や伐採屋など、森林クラウドシステムの森林情報を活用し、業務を行いました。
森林整備	高性能林業機械レンタル補助事業	122,000	122,000	0	計画的な間伐材等の生産を推進するため、機械のレンタル補助を実施。	ウインチ付きグラブのレンタル補助を行い、新城地区での間伐作業において活用されました。
普及啓発	木製玩具製作業務委託料	3,152,655	3,152,655	0	かつらぎ町産材を使用して木のおもちゃを幼児にプレゼントします。「木とふれあい、木に学び、木でつながる」木育の取り組みを通じて、親子	丹生都比売神社をモチーフとした木のおもちゃを100個作製しました。
普及啓発	西部公園キッズスペース活用事業	40,000	40,000	0	かつらぎ町産材を使用した木工教室を西部公園で開催し、木材利用の普及活動を行います。	小学生を対象に講師から木の大切さを学び、木のおもちゃをみんなで楽しんでもる活動を実施しました。
普及啓発	木育推進事業	634,480	634,480	0	児童が木の文化への理解を深め木材の良さや利用の意義を学び、森や自然の大切さを学びます。	小学校の授業に木育を導入し、講師から木の良さを学び、木を使った取組みを行いました。
基金積立		6,000,000	6,000,000			
合計		39,667,784	39,644,000	23,784		

※森林ゾーニングとは……… 事業の優先度を判断するための指標の1つになります。和歌山県では、経済林(4㎡程度のトラック等が走行可能な道路から500m以内、山腹傾斜各40度未満、人口林(スギ・ヒノキ)であること)と経済林以外の環境林(水源涵養等の公益的機能の維持・増進を図るエリア)とに区分されています。経済林の中でも特に素材生産に有利な条件の場所(森林内に開設された路網密度が5m以上、直近10年間の造林事業の間伐履歴があること)を重点エリアとしています。

フォレストヘルメット



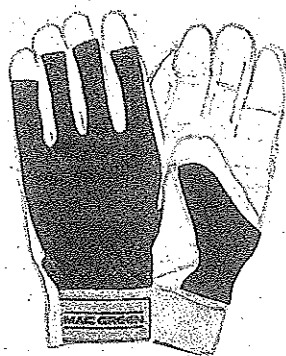
充電式ファンジャケット



チャップス



防振手袋



プロテクトブーツ



安全スパイク地下たび

